

## 調 査 票

（回答機関名：ハイテクプラザ）

終了年度	実施機関	試験研究課題名
平成14年度	ハイテクプラザ、 機械器具製造業、 プラスチック製品製造業、 介護用品・福祉機器のレタ・販売業	高感性福祉用具の開発 「在宅介護用昇降ベッドの開発」
試験研究の目的・内容・結果		
<p>報告書名：福島県ハイテクプラザ試験研究報告(平成14年度)、出版年：平成15年、 掲載ページ：1～6</p> <p>報告書名：産官共同研究開発事業研究成果報告書 「在宅介護用昇降ベッドの開発」 出版年：平成15年、掲載ページ：1～27</p>		
利活用の状況		
<p>共同研究企業では、県と共同出願した実用新案について既に使用許諾を取っており、大手機械設備メーカーとの提携を進めるなど製造販売に向けて検討してきた。しかしながら製造コストを低く押さえるのが難しく、現在は製造・販売の検討は行っていない。</p>		
利活用にあたっての問題点		
<p>既存の大手介護ベッドメーカーでは、定価よりもかなり低い販売価格としている場合も多く、大手機械設備メーカーとの提携や中国における生産などの生産コスト抑制を検討しても、企業として利益を得ながら、かつ競合他社に対して十分な競争力を持つまでの低いコストに抑えるのが課題である。</p>		
利活用を促進する提案		
<p>現在、本研究で取得した特許の実用化を図るべく共同研究企業間で検討を進めている。</p>		
外部評価アドバイザーのコメント		
<p>結局、出発点での目標設定の定量化、費用対効果の設定の問題か。</p>		